

# 北大生物の会・東京

## 第45回談話会のご案内

下記の日程で「北大生物の会・東京」談話会を開催致します。  
会員の皆様、会員以外のご参加いただけます。  
皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

本会は、北大で生物学系の分野を学んだ卒業生たち（主として農学部、理学部、水産学部・卒）が、広範囲な分野のテーマについて、互いに啓蒙しつつ交友を深めるために、同士を募り、1995年に発起されました。毎年春と秋に談話会を開催しています。

今回は廣崎 芳次 先生をお招きしてお話を伺います。先生には『生物学者昭和天皇と北大水産および理学部の人たち』というタイトルでお話を頂きます。先生は江ノ島水族館に勤務しておられた頃に天皇家とご親交を持たれました。極めて貴重で興味深いお話が伺えるものと楽しみにしております。

日 時	2018年6月30日（土曜日）14時～18時	
場 所	東京医科歯科大学・食堂棟1階レストラン「あるめいだ」	Tel: 03-3811-9607
	*地図は2ページをご覧ください	
	〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45	
	【アクセス】JR「御茶ノ水」駅、東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅、 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅	
談話会講師	廣崎 芳次 先生（1953年北海道大学理学部動物学科卒）	
演題	「生物学者昭和天皇と北大水産および理学部の人たち」 *講演要旨および演者略歴は3ページ以降をご覧ください	
会費	無料	
ご連絡先	庶務幹事：祖父尼俊雄（院理・修（動物）S38 修了） E-mail: toshi_sofu@jcom.zaq.ne.jp	

\*談話会講演の後に連絡・報告を兼ねた定期総会があり、16時30分より18時まで講師の先生と直接お話し出来る場として懇親会を行います（会費：5,000円、会場は同じ「あるめいだ」です）。懇親会への参加をご希望の方は、メールにて事前にご連絡くださいますようお願い致します。

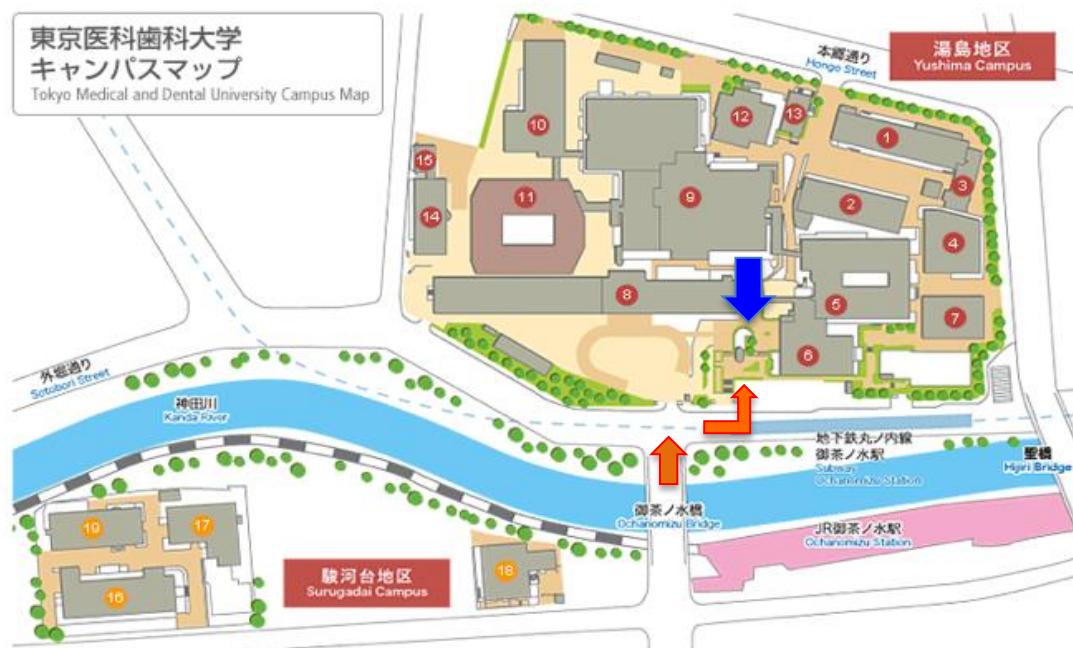
ご不明な点がございましたらご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしています。

<次ページにつづく>

これまで過去3年間（6回）の談話会では、下記のような内容で講演を頂いてきました。

- 第39回談話会 「水族館の哺乳類」 講師：荒井 一利 氏（2015.6.20）  
第40回談話会 「ペットの加齢と診断 ～動物病院における会計履歴から見えてくること～」  
講師：田中 紀子 氏（2015.10.24）  
第41回談話会 「視覚生理学の研究史と無脊椎動物の視覚」 講師：片桐 康雄 氏  
（2016.6.25）  
第42回談話会 「生き物と放射線」 講師：村松 晋 氏（2016.10.24）  
第43回談話会 「北大で学んだ浮遊生物学」 講師：福地 光男 氏（2017.7.8）  
第44回談話会 「新しい時代にマッチした「遺伝学用語集（日本遺伝学会・編）」の発行と遺  
伝学用語の改定：「優性/劣性」はやめて「顕性/潜在」に、など」  
講師；池内 達郎 氏（2017.10.28）

次回以降の談話会につきましてもご案内させていただきます。



御茶ノ水橋を渡って外堀通りからの門を入ると、階段（スロープ）  
を上ったところに断面が楕円形の建物（食堂棟）があります（青の矢印）。  
その入口から地下に降りてください。

レストラン「あるめいだ」地図

<講演要旨および演者略歴は3ページ以降をご覧ください>

## 生物学者昭和天皇と北大水産および理学部の人たち

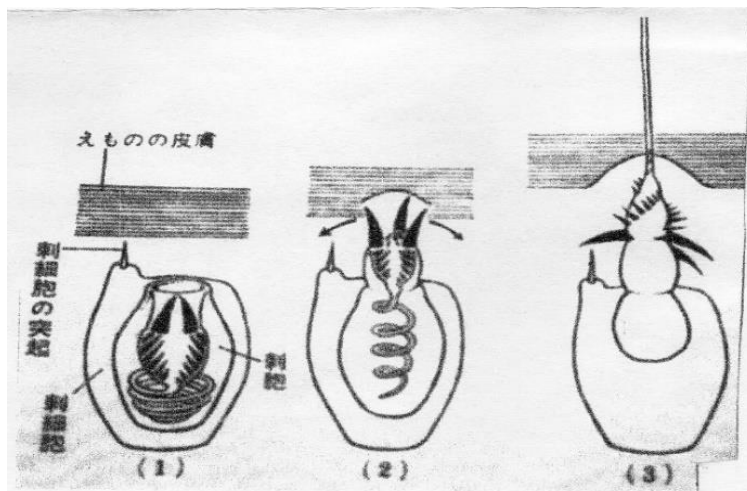
廣崎 芳次 (野生水族繁殖センター代表、1953 年 理学部 動物学科卒)

### I. 北大生物の人たち

相模湾の海藻としては、アオサなどの緑藻 48 種、ホンダワラなどの褐藻 72 種、テングサなどの紅藻 260 種が報告されている。相模湾は海藻類も多く 24 の新種を昭和天皇は発見されており、このことについて北大理学部植物学科の山田幸男博士が大いに貢献している。

生物学御研究所編として相模湾産尋常海綿類が 1989 年に刊行された。北大水産学部教授であった谷田専治博士の 80 歳を超えての力作である。

刺胞細胞のヒドロ虫類は、クラゲで代表されるように極端に異なった二つの世代を持つために、それぞれ別種として扱われることが多い分類の難しい動物で、この分野で北大理学部動物学科の内田亨博士、山田真弓博士が大いに貢献した。とりわけ『相模湾産ヒドロ虫類Ⅱ 有鞘類 1995 年』は天皇のご遺稿を山田博士が出版の労をとられた。184 種のうち 10 種が新種、19 種が日本新記録である。



刺胞動物 クラゲ、イゾギンチャク、サンゴ  
毒を差し込む細胞を持っている動物

富山大学教授であった北大理学部動物学科卒の林良二博士は相模湾産海星類を 1973 年に出され、7 新種と 1 新亜種を報告されている。

昭和天皇のご研究とは直接関係はないが、国際生物学賞を受けたハワイ大学の柳町隆造教授も北大理学部動物 21 期の出身である。『昭和天皇在位 60 年と長年にわたる生物学のご研究を記念するとともに生物学の奨励を図る』ということで、平成 26 年で第 30 回を迎えた国際的に権威のある賞で、日本人の受賞者は 4 人に過ぎない。柳町博士は生殖生理学での先駆的な研究で第 12 回の平成 8 年に

受賞され、今上天皇から親しく生物学ご研究所をご案内していただいた。廣崎芳次は北大水産学部・理学部動物 22 期で、江の島水族館勤務の関係から陛下とのおつきあいがあった。

## II. 陛下と江の島水族館

- ・人払い
- ・展示生物貸出
- ・サザエの殻についていたポリプを天皇は相模湾にいないものと断定し、壱岐・対馬産であることを確かめた。
- ・エダアシクラゲのごく小さく透明な触手を虫眼鏡で観察し、別種であることをみつけた。
- ・ヒメミドリアメフラシ 7 匹 . . . . . ご下賜品
- ・江の島沖の流れ藻についていた個体を廣崎の研究材料として届けてくださった。
- ・ご進講 . . . . . 流れ藻の生物の社会構造  
. . . . . ササとタケの話術
- ・マミズクラゲの同定のお願い . . . . . 平沼高校のヒメマミズクラゲ？



- ・烏帽子岩使い . . . . . 漁協と調査
- ・御用邸部屋割り
- ・常陸宮
- ・霞会
- ・襖の下駄、擦り切れたカーペット、窓開け、ヒゲ剃り
- ・ミカンとサクランボ 落ちたケーキ
- ・ナミダカサゴの泳ぎと脱皮
- ・ご用酒 お歳暮
- ・お通夜 葬儀

## 【追加資料】

生物学者 昭和天皇をしのんで

廣崎 芳次

昭和天皇が亡くなられてから30年になる。

北大理学部動物学教室の内田亨教授、山田真弓教授等北大と昭和天皇との学問の上でのおつきあいは深い。

江ノ島水族館に9回も行幸され、サザエの殻についてポリプ、平沼高校のマミズクラゲ、ごく小さなエダアシクラゲの触手から別種の発見など、そしてお歳暮としてご用酒をいただいたことなど、30年間にわたる秘められたエピソードのいくつかのほか、ご進講や昭和天皇のお通夜までを紹介する。

さらに魚類学者の今上天皇とチョウザメ、秋篠宮と日本動物園水族館総裁、生き物文化誌学会、常陸宮とドチザメについても述べる。

### [略歴]

- 1950年 北大水産学部増殖学科卒業
- 1953年 北大理学部動物学科卒業
- 1954年 江ノ島水族館勤務
- 1961年 理学博士
- 1972年 江ノ島水族館館長
- 1986年 江ノ島水族館退職
- 1987年 野生水族繁殖センター代表
- 現在に至る